

日本薬局方 ブドウ糖注射液

※※ブドウ糖注射液5%「VTRS」
※※ブドウ糖注射液20%「VTRS」

GLUCOSE Injection

貯法：室温保存
使用期限：最終年月を外箱等に記載
(取扱い上の注意参照)

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

	5%			20%
	20mL	250mL	500mL	20mL
承認番号	22700AMX00161			22700AMX00160
※※薬価収載	2022年6月			
販売開始	1999年9月	1999年7月		1994年7月

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

低張性脱水症の患者 [本症はナトリウムの欠乏により血清の浸透圧が低張になることによって起こる。このような患者に本剤を投与すると、水分量を増加させることになり、症状が悪化するおそれがある。]

※【組成・性状】

1. 組成

1 容器中：

成分	ブドウ糖注射液5%「VTRS」			ブドウ糖注射液20%「VTRS」
	20mL	250mL	500mL	20mL
有効成分	日局 精製ブドウ糖			
	1g	12.5g	25g	4g
熱量	4kcal	50kcal	100kcal	16kcal

2. 性状

本剤は無色澄明の水性の注射液で、その溶液のpH及び浸透圧比は次のとおりである。

販売名	ブドウ糖注射液5%「VTRS」	ブドウ糖注射液20%「VTRS」
pH	3.5~6.5	
浸透圧比	約1（生理食塩液に対する比）	約5（生理食塩液に対する比）

【効能・効果】

ブドウ糖注射液5%「VTRS」：

脱水症特に水欠乏時の水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患、注射剤の溶解希釈剤

ブドウ糖注射液20%「VTRS」：

循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、注射剤の溶解希釈剤、心疾患（GIK療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合

【用法・用量】

ブドウ糖注射液5%「VTRS」：

水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人1回5%液500~1000mLを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として0.5g/kg/hr以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

ブドウ糖注射液20%「VTRS」：

循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（GIK療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人1回10~50%液20~500mLを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として0.5g/kg/hr以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1)カリウム欠乏傾向のある患者 [ブドウ糖の投与によりカリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがある。]
- (2)糖尿病の患者 [高血糖を生じ症状が悪化するおそれがある。]
- (3)尿崩症の患者 [本症には適切な水分、電解質管理が必要であり、本剤の投与により電解質等に影響を与え、症状が悪化するおそれがある。]
- (4)腎不全のある患者 [水分の過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。]

2. 重要な基本的注意

ブドウ糖の投与速度が速い場合に急激に中止することにより、低血糖を起こすおそれがある。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

大量・急速投与（頻度不明）：大量を急速投与すると、電解質喪失を起こすことがあるので、慎重に投与すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

5. 適用上の注意

(1)投与経路

皮下大量投与により、血漿中から電解質が移動して循環不全を招くおそれがあるので、皮下投与しないこと。

(2)調製時

- 1)他の医薬品を混注して使用する場合には、医薬品相互の物理的・化学的変化に十分注意して行うこと。
- 2)注射剤の溶解・希釈剤として使用する場合は、ブドウ糖注射液が適切であることを確認すること。

(3)投与前

- 1)投与に際しては、感染に対する配慮をすること（患者の皮膚や器具消毒）。
- 2)寒冷期には体温程度に温めて使用すること。
- 3)開封後直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

(4)投与時

- 1)ゆっくり静脈内に投与すること。
- 2)高張液の投与は、血栓性静脈炎を起こすことがあるので、慎重に投与すること。
- 3)血管痛があらわれた場合には、注射部位を変更すること。また、場合によっては投与を中止すること。

(5)投与後

高濃度液投与の急激な中止により、低血糖を起こすおそれがある。

【薬効薬理】

ブドウ糖は肝、心筋グリコーゲン量をたかめ、あるいは全身の細胞機能を亢進して生体の代謝能を増す。また生体内でブドウ糖が代謝されるときにカリウムが消費されるので、高カリウム血症の治療に用いる¹⁾。

※【有効成分に関する理化学的知見】

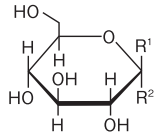
一般名：精製ブドウ糖 (Purified Glucose)

化学名：D-Glucopyranose

分子式：C₆H₁₂O₆

分子量：180.16

構造式：



α -D-グルコピラノース：R¹=H, R²=OH

β -D-グルコピラノース：R¹=OH, R²=H

性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、味は甘い。

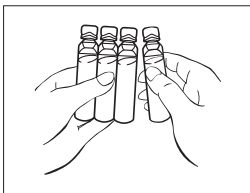
水に溶けやすく、メタノール又はエタノール (95) に溶けにくい。

【取扱い上の注意】

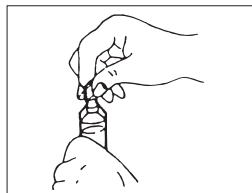
1. 20mLの場合の注意：

アンプルカットの手順

(1)アンプルの結合部分を前後に切り離して下さい。



(2)頭部を回転させて切り離して下さい。

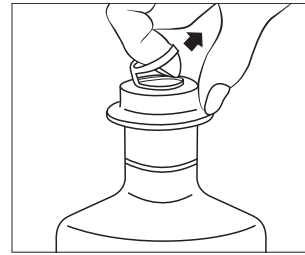


2. 250mL、500mLの場合の注意：

(1)連結管による混合投与の場合は、Y字管連結にして使用すること。

(2)開栓時の注意：

- 1)プルオフリングの支柱部が向こう側になるようにボトルを保持する。
- 2)プルオフリングの上から人差し指を入れ、リングに指をかける。



3)親指で支え、手前方向へ約45度にゆっくり引くと開栓できる。

(3)注射針はゴム栓の○印にまっすぐ刺すこと。

(4)容器の目盛はおよその目安として使用すること。

3. 包装内に水滴が認められるものや内容液が着色または混濁しているものは使用しないこと。

【包装】

ブドウ糖注射液 5%〔VTRS〕：

20mL×100管(プラスチック容器)

250mL×20瓶、500mL×20瓶(プラスチックボトル)

ブドウ糖注射液 20%〔VTRS〕：

20mL×100管(プラスチック容器)

*20mLプラスチック容器はポリエチレン製容器、250mL及び500mLはポリプロピレン製容器である。

【主要文献】

1) 第十七改正 日本薬局方解説書 廣川書店：C-4481, 2016

※※【文献請求先】

ヴィアトリス製薬株式会社 メディカルインフォメーション部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

フリーダイヤル 0120-419-043

※※【製造販売元】

マイランEPD合同会社

東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

※※【販売元】

ヴィアトリス製薬株式会社

東京都港区虎ノ門5丁目11番2号